

〈議会報告〉 2020年12月15日、日本共産党春日部市議団

1 2月定例議会 春日部市教職員組合提出

早期に「少人数学級」の実施を求める

国への意見書提出に関する請願 採択

12月15（火）、本会議で賛成多数で「採択されました。

賛成は、日本共産党6名、新政の会8名（議長を除く）、公明党6名。無所属2名の22名。

反対は、前進かすかべ未来の会6名、NHKから国民を守る党1名、無所属1名の8名でした。

請願文書は、下記の通りです。

件 名

早期に「少人数学級」の実施を求める国への意見書提出に関する請願

要 旨

コロナ禍の中で40人学級では感染防止は困難であり、子どもたちの安心・安全を守り、一人ひとりにきめの細かい指導を保障していくために、早期に「少人数学級」の実施を求める国への意見書を提出していただきたい。

理 由

国の小・中学校学級編成基準は、小1以外40人学級と長年変わらないままです。埼玉県
の基準は、小1・小2が35人、中1が38人に改善されました。

春日部市では、平成21年の9月市議会で、「少人数学級」の実施を求める請願が採択されて
います。欧米諸国は20～25人であり、日本は平均児童生徒数でOECD加盟国中（2019年デー
タ）小学校はワースト2、中学校は最下位です。

コロナ禍の一律休校の後の分散登校では、クラスを半分ずつの20人学級だったので、子
どもたちから「密にならずに安心だった」「勉強がよく分かった」「落ち着いて生活する
ことができた」という声をたくさん聞くことができました。現在は40人学級に戻っており、
学校現場では感染予防のために様々な工夫をしていますが、教室の密集度だけはどうにも
ならず、身体的距離を保つことは到底できません。

ウィズコロナの「新しい生活」の中でこそ、子どもたちが安心して登校でき、教職員が
一人ひとりにきめ細かな指導ができるよう、教育効果の高い少人数学級が必要です。全国
知事会・全国市長会・全国町村会の首長3団体が「少人数学級、早期導入」の緊急提言を
文部科学相に提出し、自民党の教育再生実行本部も「30人学級の推進」を求める決議を文
部科学相に提出しました。子ども、保護者、教職員の願いは、全国の首長や与野党を含め、
「少人数学級」の早期実現です。

よって、春日部市議会でも、早期に「少人数学級」の実施を求める意見書を国に提出し
ていただくようお願いいたします。

地方自治法第124条の規定により、上記の通り請願書を提出します。

令和2年11月16日

請願者 代表 春日部市谷原1-12-2

春日部市教職員組合委員長 小菅 昇